

愛知国際病院ホスピスだより

2012. 7

〒470-0111 愛知県日進市米野木町南山 987-31
電話 代 表 (0561)73-7721
ホスピス (0561)73-3191

日本人の一番苦手なこと

院長 井手 宏

ホスピスに入院されている方に、「人生で一番大切にしておられることはなんですか？」と伺うことがあります。ある日、若い頃、実業家として大変成功されすでにリタイアされている方にこの質問をしました。その方は、「自分を大切にすること」と即答されました。このような答えは初めてでしたので、とてもびっくりしました。実業家としての成功者だったので、もう少し違う答えが返ってくると思っていたからです。「誠実であること」とか、「まじめに働く」「相手のためを考える」「家族との時間」という答えがこれまで多くの方から聞いた言葉でした。動揺しながら思わず、「すごいですねえ」と言いました。きっと私はとても驚いた顔をしていたのでしょう。丁寧にその意味を説明していただきました。「自分を大切にすると、人も大切にできるようになるからです。自分をいじめると、他の人もいじめてしまうでしょう。だから、自分を大切にすることですよ」。意味を聞いて唖ってしまいました。

自分を大切にすること＝他の人を大切にすること。これは、単なるわがままで自己中心的であるということとは違うのです。「自己犠牲的」「自分が耐えればいい」などというのが美德であり、尊敬される態度だという考え方が、日本人には根強くあります。しかし実は自分が一番可愛くて大切だというのが正直な思いだけれど、声に出して言うてはいけないと思っているのです。それは、自分を大切にすること＝他の人を大切にしていない、という定理があると思っているからです。私も自分が一番大切なはずなのですが、声をあげて言うことはできません。それは、この定理が私の頭の中にもあるからだと思います。だから人のためにと頑張って日夜努力しています。

確かに人のために自己犠牲を払っていると、だんだんと辛くなって腹が立ってきませんか。ですが自分を大切にしていたら、人を大切にしても腹が立ってきません。

何かをやり遂げた人には、その人の哲学があります。かのニーチェも著書『ツウアラトウストラはかく語りき』の中で、「～のために」行うことをやめる＝どれほど良いことに見えても、「～のために」行うことは、卑しく貪欲なことだと言っています。

「ご自分を大切にすること」と答えた方は、これに通ずる哲学を持っておられたのだと思います。「自分を大切にすること」の本当の意味を教えていただき、そこに到達できない自分を反省しながら、最近その方のことをよく思い出しています。

(原稿掲載にあたり、筆者との会話を載せることについて関係者の方に承諾をいただきました)



ホスピスの師長を終えるにあたり、師長としての7年間を振り返りますと、私は「死」を見つめていたのではなく、常に「生」を見つめていたのだと思います。

「生」が在るホスピスには、いのちの出会いと別れがたくさんあります。患者さんが最期まで生ききるために、痛み（全人的な）を和らげることを大切にして、普段の生活に近づける援助をしたいと願ってきました。

以前、ある勉強会で篠田牧師から「ターミナル」の概念を学んだことがありました。

「バスターミナル」という喩え話が用いられました。「ターミナル」は終着点でありながら出発点である。ターミナルケアは終着点への援助をしていると思っているが、実は出発に向けての援助をしていることでもある。亡くなられたことを「旅立ち」と言うことがある。人が次の世界（あの世、神様の御許、仏様のところ）へ出発されたことになるということでした。「ターミナル」の概念をお聞きし、ホスピスケアが生ききることへの援助であるとともに、次のいのちへの出発のための援助でもあることに改めて気づかされました。

新たに出発なさるのは、患者さんだけではありません。患者さんを見送った遺族にとっても新しい生活の出発をすることになります。遺族がホスピスに訪れた際に、亡くなられた方の存在を感じながら生活していることを話されます。それを何うと「生命」が終わってもその方の「いのち」が続いていることを感じます。

そんな「生」を見つめるホスピスケアの実践は、お一人おひとりの違いを感じ理解することから始まります。患者さんの数だけある問いの答えをチームで考え合い、援助する方向性を見出す作業を繰り返しながら、患者さんの日常を実現できるように援助していくのです。このときの私たちの感性（気づき）がとても大切なのだと思います。このようにホスピスでの日常性を大切にしたい関わりを積み重ねていくことで、心の触れ合いが自然に生まれ、医療者と患者・家族という関係から人と人の関係になっていったように思います。

あと数日・・・の時に「ありがとう」「僕がついているから心配ないよ」「苦しいけれどももう少しでご先祖様に会えるよ」と語りかける家族がおられました。別れという悲しみを超えた空間でした。私にとってホスピスでの生活は、このように教えて頂くことがたくさんありました。共に過ごさせていただいたことに心から感謝いたします。



『あなたはあなたのままで大切なのです。あなたの人生最後の瞬間まで大切な人です。ですから、私たちはあなたが心から安らかに死を迎えられるだけではなく、最期まで精いっぱい生きられるように最善を尽くします。』

これは、シシリーソングラス先生の言葉です。このようなホスピスケアを続けられるように、これからは看護部長としてスタッフを支えていけたらと思います。

ホスピス病棟では、退院された患者さんのご家族に、一年を目安にしてお手紙をお送りしています。先日、ご家族からお返事をいただきました。お返事には、「ここにこうして母のことを覚えてくださる方がいて、母の死を語る方がいる、母の死をいたんでくださる方がいるのを知りとても心いやされました」と書かれていました。私もいただいた言葉に涙がこぼれ、心が癒されました。



退院されたご家族の方は、お元気でお過ごしなのかなあとふと思い出すことがあります。退院されてからお会いできることは少なく、お見送りをしたら、そのまま関係が終わってしまうように感じてしまうこともあります。けれども細くても力強い糸で人と人とはつながっているのだなあと、今回いただいたお手紙で感じました。また明日からも頑張ると励ましをいただいたように思います。

患者さんやご家族には、ホスピスにご入院される前に、長い人生の歴史があり、また、亡くなられてからも、それからのご家族の生活があります。ホスピスで過ごされるのは人生の中の短い期間ですが、その人生に少し参加させていただき、縁の下の力持ちになって、支えていくことができたらと思います。

明日葉の会へのお誘い

明日葉の会は、愛知国際病院ホスピスで大切な家族の看取りを経験した方々が集まり、思いを声に出し、分かち合う会です。「明日葉」という植物は、今日摘んだ芽が明日には伸びてくるというほどの生命力の強い植物で、それにあやかり会の名前としました。家族を看取られてから半年以上を過ぎた方を対象として、偶数月の第3土曜日午後2時から4時、病院の一室をお借りして集いを行っています。続けて来られる方も、間を空けて来られる方もおられますので、ご都合がつく時に自由にご参加ください。詳しくは世話人（家族代表）の太田博文までお問い合わせ下さい。

連絡先 〒470-1153 愛知県豊明市前後町三ッ谷1277-3 太田博文
TEL 0562-92-2294 Fax0562-92-8294 E-mail h-ohta@pop21.odn.ne.jp

賛助会員募集のお知らせ

愛知国際病院ホスピスでは、賛助会員を募集しています。アメニティーの充実（施設環境、造園、園芸）、ホスピスでの諸行事、ホスピス相談の充実、広報啓蒙活動、家族会の開催、ボランティアの活動、教育活動のために是非ご協力をお願いいたします。（ご入会いただいた方には年4回発行の病院だより「みなみやま」と年2回の本誌をお送りいたします）

入会方法

下記の口座に会費をお振り込み下さい。

郵便振替口座 00890-5-3757

口座名義 愛知国際病院ホスピス賛助会

一口1000円（おいくらでも結構ですが、できましたら5口以上でお願いいたします）

ホスピス診療記録 (2011.4~2012.3)

- 1) 入院総数147人 男性70人 女性77人
(退院総数147人)
- 2) 平均年齢 74.3才
- 3) 平均在院日数 44.1日
- 4) ベッド利用状況 1日平均患者数 17.7人
病床利用率 88.5%

原発臓器

肺	29	卵巣	4
胃	17	脳	2
結腸	8	尿管	1
膵	23	甲状腺	1
直腸	4	舌	1
乳	5	口腔	1
胆管・胆嚢	5	リンパ腫	1
肝	9	胸腺	1
咽頭・喉頭	1	歯肉癌	1
膀胱	3	骨髄腫	1
前立腺	6	細胞癌	1
大腸	9	虫垂	1
子宮	5	骨腫瘍	1
食道	3	耳下腺	1
腎	2	合計	147

退院患者住所分布

県外の内訳

三重県	1	大阪府	1
岐阜県	3		
長野県	1	合計	6

愛知県の内訳

名古屋市	75	みよし市	4
日進市	24	東海市	1
春日井市	4	刈谷市	1
瀬戸市	8	あま市	1
東郷町	11	大府市	1
長久手市	3	岩倉市	1
豊田市	7	合計	141

賛助会収支報告

収入		
賛助会	316口	4,793,000
支出		
研修・研究費		360,430
環境設備費		729,510
消耗品費		2,184,303
食材費		346,304
広告通信費		323,400
建築費補填・運営費		849,053
合計		4,793,000

紹介元病院一覧

医療法人名古屋記念財団 名古屋記念病院 (38)

愛知医科大学病院 (12)

愛知県がんセンター中央病院 (11)

日本赤十字社 名古屋第二赤十字病院 (11)

JA愛知厚生連 豊田厚生病院 (3)

医療法人大医会 日進おりど病院 (3)

公立陶生病院 (3)

独立行政法人国立病院機構 東名古屋病院 (3)

名古屋市立大学病院 (3)

トヨタ記念病院 (2)

社会保険 中京病院 (2)

独立行政法人国立病院機構 名古屋医療センター (2)

名古屋市立東部医療センター (2)

NTT西日本 東海病院 (1)

医療法人愛生会 総合上飯田第一病院 (1)

医療法人尾張健友会 千秋病院 (1)

医療法人香徳会 メイトウホスピタル (1)

医療法人青和会 中央病院 (1)

医療法人豊田会 刈谷豊田総合病院 (1)

医療法人明心会 仁大病院 (1)

国家公務員共済組合連合会 東海病院 (1)

宗教法人在日本南プレスビテリアンミッション
淀川キリスト教病院 (1)

社会医療法人宏潤会 大同病院 (1)

独立行政法人国立長寿医療研究センター (1)

名古屋掖済会病院 (1)

名古屋市立西部医療センター (1)

名古屋徳州会総合病院 (1)

藤田保健衛生大学病院 (1)

あいち肝胆膵消化器クリニック (1)

アガベクリニック (1)

板倉ペインクリニック在宅診療所 (1)

医療法人小笠原会 ケアプラスクリニック (1)

医療法人士正会 栄エンゼルクリニック (1)

医療法人純正会 千種クリニック (1)

在宅療養支援診療所 たんぼクリニック (1)

ふくしまファミリー内科 (1)

三つ葉在宅クリニック山中 (1)

訪問看護ステーション えまい (3)

かしのき訪問看護ステーション (1)

高坂苑 (1)

訪問看護ステーション とも (1)

(順不同・重複有)